

令和6年3月29日

大山町地籍調査課

1 サウンディング型市場調査実施の経緯

中山温泉館は、平成11年の開館から24年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後は利用者ニーズを踏まえた持続可能な運営形態の構築を目指していく必要があります。

そして、今後も安定的に施設を維持し、より良いサービスを提供するために中山温泉館の新たな施設利用の検討を進めるためにサウンディング型市場調査を実施しました。

2 対象施設の概要

施設名称	大山町中山温泉館
施設所在地	鳥取県西伯郡大山町赤坂708番地
施設構造	RC造（鉄筋コンクリート造）
施設延床面積	1788㎡
施設築年	平成11年10月営業開始

3 サウンディング型市場調査のスケジュール

実施要綱の公表	令和5年12月7日（木）
サウンディング型市場調査の実施	令和6年2月20日（火）
実施結果の公表	令和6年3月29日（金）

4 サウンディング調査の参加者

1社

5 調査結果の概要

- ①中山温泉館の魅力及び利用者満足度向上に向けた設備更新・整備のアイデアについて
 - ・浴室もしくは露天風呂や中庭から日本海や大山が一望できるようにする
 - ・家族風呂の新設
 - ・露天風呂の導入
 - ・温泉水の有効活用（足湯）
 - ・温泉館北側駐車場の活用
- ②中山温泉館の活用・運営にあたっての主な課題について
 - ・温泉館関連設備機器の更新計画
 - ・源泉貯湯タンクによる温度低下
 - ・源泉貯湯タンクの耐用年数
 - ・温泉館貯湯タンクの耐用年数
- ③温泉館の入浴料金について
 - ・温浴施設単体で見ると現状の金額で妥当
 - ・回数券の割引率の検討

- ・回数券の種類を検討

④提案の実現に向けて大山町に要望すること

- ・中山温泉館には専門知識やこれまでの様々な推移や状況を把握した専任者が必要
- ・案内看板の増設（山陰道中山IC、赤碓中山IC、国道9号アクセス道(計画道路)）
- ・広報への協力体制

⑤その他

- ・銭湯的な施設として継続しつつ観光振興施設として進化する必要がある
- ・女性や子ども、若者の入浴者数を増やすためのサービスや他施設との差別化を図る

6 今後について

今回のサウンディング（対話型市場調査）では、参加いただいた事業者から様々なアイデアや提案をいただくことができました。

本町といたしましては、この度のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、課題整理を行いながら、新たな施行に向けた取り組みを進めてまいります。